

## “絆”きずな

## 訪問リハビリ振興財団リハステーション就職説明会を開催!!

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団では、平成30年度に主要4都市（仙台、東京、大阪、福岡）にて就職説明会を開催いたしました。就職説明会では、第1部で概要説明・処遇説明を行い、第2部は個別相談会を行いました。都道府県士会の皆さまにご周知いただいた結果、大学4年生から中途採用まで、非常に前向きな方に多数ご参加いただきました。各会場では率直な意見交換を行い、熱気ある就職説明会を開催することが出来ました。お陰様で、新卒3名を含む理学療法士4名、作業療法士3名が、晴れて春から財団に入職することとなりました。ご協力いただき誠にありがとうございます。

訪問リハビリテーション振興財団の活動を継続していくためには、まだまだ職員の数が必要ありません。平成31年度も財団の活動をより広く皆さまにお届けするため、また、入職を検討していただける方を増やしていくため、引き続き、就職説明会を開催してまいりますので、更なるご支援をいただきますようお願いいたします。

【就職に関するお問い合わせ先】TEL：03-6453-7370 ご応募をお待ちしております。  
ホームページ <http://www.hvrpf.jp/recruit>（半田会長からのメッセージ）

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 事務局

## ～南から始まる「訪問リハビリテーションの魅力紹介」～ 石川県

私の住んでいる地域は北陸地方で、冬は積雪も多いです。冬季の訪問は、時に暴風雪の中積もった雪をかき分けて行かなければならないこともしばしばです。苦勞して到着すると、ご家族が寒い中雪をかきをして駐車スペースを作ってくださっていたり、部屋を暖かくして迎えてくださったり、人の心の温かさに触れることができます。

言語聴覚士の訪問リハビリでは、重度の嚥下障害の方を担当することも多いと思います。入院中は食べられないと宣告され、半ば食べることを諦めていた方も多くいらっしゃいます。ご自宅へ退院後も嚥下リハビリを継続して受けられ、再び食べることができるようになった時のご本人ご家族の喜びはひとしおです。「食べたい」という思いに深く寄り添える、訪問リハビリだからこそできる支援の一つだと感じる今日この頃です。

石川県訪問リハ・地域リーダー

角 美香

言語聴覚士

## 訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介④ 大分県編

大分県は平成23年度から「大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会合同研究会」を設立し、訪問リハビリテーション実務者研修会を毎年行ってきました。地域包括ケアシステムの推進の流れを受け、平成28年度には会の名称を変更し、「大分県リハビリテーション専門職団体協議会」が設立されています。

近年は、訪問リハビリテーションに限らず、幅広い分野で活躍できる人材の育成に取り組む必要性があることから、実務者研修会の他にも三専門職共通の課題に取り組む研修会や事例検討会等も開催しています。今後も、行政や多職種と連携・協力し、地域の医療・保健・福祉の増進に寄与できるよう邁進していきたいと思っております。



左より

(公社)大分県言語聴覚士協会会長 木村 暢夫

(公社)大分県作業療法協会会長 高森 聖人

大分県リハビリテーション専門職団体協議会会長 河野 礼治

(公社)大分県理学療法士協会会長 市川 泰朗

大分県訪問リハ・地域リーダー 作業療法士

矢野 豊久

医療法人ライフサポート 明和記念病院